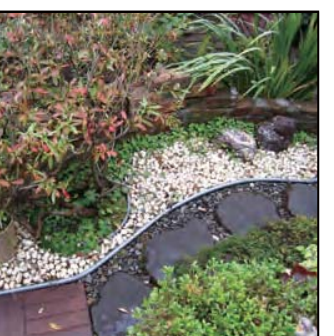
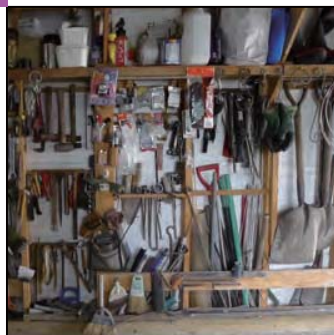
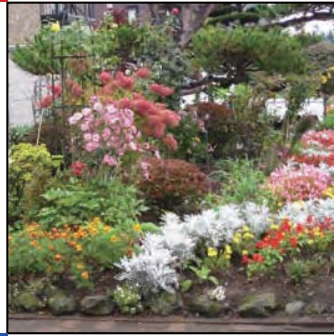
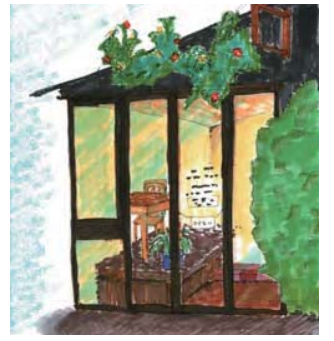




地域連携コミュニティ
再生講座全体フォーラム

アクティブ・アクティブ
活動報告書

受ける心

伝える技術

2011

目 次

■はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2p
-------------------------------	----

第1部 現場＜庭＞を見ること

■地域連携コミュニティ再生講座全体フォーラムプログラム・・・・・・・・	3p
-------------------------------------	----

(財団法人北海道地域活動振興協会助成事業)

日時：2011年10月15日 15：15～18：00

場所：恵庭リサーチビジネスパーク3階視聴覚室（恵庭市恵み野北3丁目1番1）

主催：（財）北海道地域活動振興協会、市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブ

参加者：約30名

●現場＜庭＞を見る一恵庭そぞろ歩き

・恵み野オープンガーデン見学（案内役：内倉真裕美氏）・・・・・・・・ 4p

・花ロード恵庭・漁川・茂漁川見学（案内役：荒関岩雄氏）・・・・・・・・ 5p

●現場＜庭＞から「伝える技術・受けとる心」を考える

・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6p

「恵庭：庭が結ぶ世界」講師：土肥真人氏

「映像から見える地域の魅力」講師：佐々木邦俊氏

・6団体パネルディスカッション、合宿ミーティング・・・・・・・・ 7p

第2部 現場＜庭＞を伝えること

■デジタル映像コンテンツ制作講座（第1～6回）・・・・・・・・	8p
---------------------------------	----

期間：2011年10月～2012年3月 計6回

場所：北広島ITステーション

主催：市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブ

講師：佐々木邦俊氏

■デジタル映像コンテンツ制作講座発表会「市民活動にもっともっと動画を！」・・・・	8p
--	----

日時：2012年3月22日

場所：ターミナルプラザことに PATOS、東京工業大学 土肥研究室

主催：市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブ

参加者：約20名

第3部 現場＜庭＞を支えること・メンテナンスすること

■経営相談会議・・・・・・・・・・・・・・・・	9p
-------------------------	----

日時：2012年2月29日

場所：札幌駅前通まちづくり株式会社5階会議室

主催：市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブ

参加者：9名

■さいごに・・・・・・・・・・・・・・・・	10p
-----------------------	-----

■参加団体連絡先・・・・・・・・	11p
------------------	-----

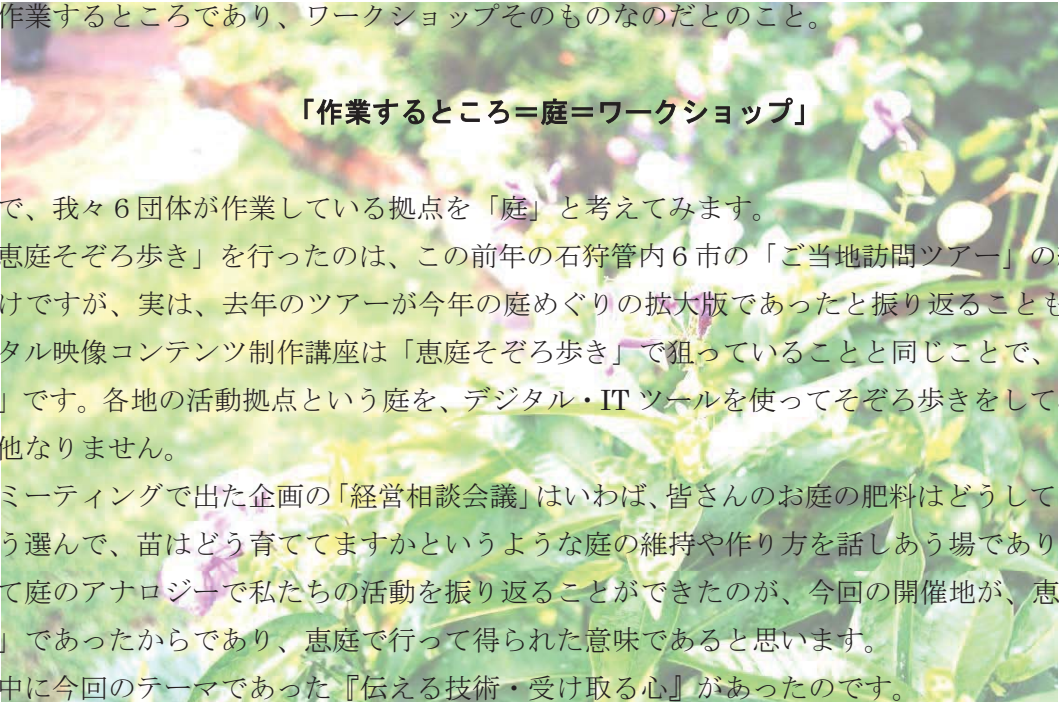
はじめに

2008年にコミュニティをはぐくむ「場」を考え、2009年にはみんなで「連携」を考えました。そして2010年にはみんなで連携を「つくる」ことまで取り組んだのがここ数年の私たちの取り組みです。3年かけて連携を実感し、今後は実践を積み重ねる段階に入っていきます。

前回、千歳での合宿では今年（2011年）は「インターネットテレビ」をみんなでやろうという話が上がり終了しました。本報告書に記載されている「デジタル映像コンテンツ制作講座」はその流れから生まれた講座です。

さて、今年の全体フォーラムですが、本報告書を作成するにあたり改めてこの一年を振り返って見ました。全体フォーラムの講演の中で、庭の語源と定義についての話がありました。

庭とは作業するところであり、ワークショップそのものなのだとのこと。



「作業するところ=庭=ワークショップ」

そこで、我々6団体が作業している拠点を「庭」と考えてみます。今回「恵庭そぞろ歩き」を行ったのは、この前年の石狩管内6市の「ご当地訪問ツアー」の縮小版であったわけですが、実は、去年のツアーが今年の庭めぐりの拡大版であったと振り返ることもできます。

デジタル映像コンテンツ制作講座は「恵庭そぞろ歩き」で狙っていることと同じことで、いわば「お庭拝見」です。各地の活動拠点という庭を、デジタル・ITツールを使ってそぞろ歩きをしてみようという事に他なりません。

合宿ミーティングで出た企画の「経営相談会議」はいわば、皆さんのお庭の肥料はどうしていますか、種はどう選んで、苗はどう育ててますかというような庭の維持や作り方を話しあう場でありました。

そして庭のアナロジーで私たちの活動を振り返ることができたのが、今回の開催地が、恵まれた庭・「恵庭」であったからであり、恵庭で行って得られた意味であると思います。

庭の中に今回のテーマであった『伝える技術・受け取る心』があったのです。

今回の報告書は、そのような観点を取り入れて作成しました。

『現場＜庭＞を見ること』、『現場＜庭＞を伝えること』、『現場＜庭＞を支えること、メンテナンスすること』の3部構成でこの一年間を振り返る報告書としました。したがって本書のタイトルも「全体フォーラム報告書」ではなく、「全体フォーラム・アクティブアクティブ報告書」にしました。

全体フォーラムについてはもちろんのことですが、ただその“点”の出来事だけでなく、一連の流れも感じながら本書に目を通していただければ幸いです。

第1部：現場＜庭＞を見ること -

地域連携コミュニティ再生講座全体フォーラムプログラム

(財)北海道地域活動振興協会助成による「全体フォーラム」の前後にアクティブ・アクティブの自主活動として「恵庭そぞろ歩き」と「合宿ミーティング」が企画されました。また翌日は荒関さん案内のもと、千歳川で川下りもしました。



④合宿ミーティング
(2011.10.15 19:00 - 2011.10.16 12:00)



⑤川下り
(2011.10.16 13:00 - 15:00)



① 恵み野オープンガーデン見学
(2011.10.15 11:00 - 12:00)



漁川

千歳川

③地域連携コミュニティ再生講座全体フォーラム
(2011.10.15 15:00 - 18:00)

②花ロード恵庭・漁川・茂漁川見学
(2011.10.15 12:30 - 14:30)



第5回 伝える技術・受けとる心
～伝えること、つながりをつくること、つながりをつづつすること～

参加無料

日時 2011年10月15日(土)
開場 15:00 開演 15:15 ~ 18:00

場所 恵庭リサーチ・ビジネスパーク 3階 視聴覚室
(恵庭市恵み野北3丁目1番1)

プログラム

- 第1部 講演会『恵庭：庭が結ぶ世界』
講師：土肥 真人 氏 (恵庭市立大学学長)
- 第2部 映像から見る地域の魅力
講師：佐々木 邦俊 氏 (Grip Koi 代表)
- 第3部 6団体パネルディスカッション
『伝える技術・受けとる心』

パネリスト
土肥 真人 氏、佐々木 邦俊 氏、石野 雅之 氏、山崎 正典 氏、山崎 正典 氏、山崎 正典 氏、山崎 正典 氏、山崎 正典 氏

主催 市民活動振興ネットワーク アクティブ・アクティブ
お問合せ 市民活動振興ネットワーク アクティブ・アクティブ 事務局
一般社団法人リサーチ・ビジネスパーク (千歳市市民活動交流センター・ニケール内)
TEL: 0123-24-0847 FAX: 0123-24-0900

現場〈庭〉を見ること—恵み野オープンガーデン見学—

研究村通り、谷村さん、鈴木さん宅の庭。

そこには、目を見張るほどの美しい庭が広がっていた。個々の庭は隅々まで手入れが行き届き、1つ1つの要素から住民の庭に対する思いが伝わってくる。そして、近隣の庭と共通する樹木、植栽等の存在から、住民が庭作りの情報交換をしている姿が想像できる。

それらの一体感による相乗効果で、単なる庭の集合にとどまらない圧倒的な美しい景色がつけられているように感じた。



鈴木さん宅のガレージ
まちの縮図のような場所
ガレージ＝まちの拠点、庭＝まちをつくる仕掛け



カフェ・キャロット
内倉さんが経営するカフェにて、驚くほどおいしいサンドイッチのランチをいただいた。店の内装・外装に見られる色とりどりの植栽がより店を明るくしていた。

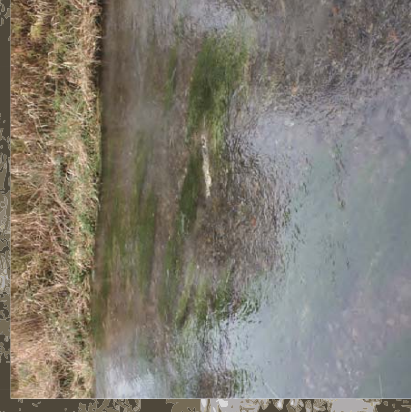
現場〈庭〉を見る―花ロード恵庭・漁川・茂漁川見学―

恵庭をぞる歩きで最後に訪れた場所は住宅地を流れるせせらぎであった。

この川には住宅地と川川を隔てる柵もない。清らかな流れに家が寄り添って建っている感だ。この美しい風景は周辺住民の協力がなければ成り立っていないであろう。

今ではこの小さな川にもサケが上り自然増殖するという。

この漁川・茂漁川の連続する美しい川辺の風景は伝えるべきもう1つの恵庭の風景だと私たちは確信した。



第1部 現場〈庭〉から「伝える技術・受けとる心」を考える一講演会

「庭が結ぶ世界」at 恵庭

講師：土肥真人氏（コミュニティー・デザイナー、東工大準教授）



「恵庭市とはなんと素敵な名前なのだろうと、この街に来る前から思っていました。今日は素敵な庭をたくさん見せていただきました。そしてこの街の庭は、僕の思う「庭」をはるかに超えています。街の住民が丹精込めた庭は、いくつも連なりオープンガーデンとなって、街の中に庭のネットワークを形成しています。私の先生であるランディー・ヘスターは『庭の意味とは、全体として、すなわち相互に関係し連続する、空間、行動、そして象徴というひとつの生態系としてとらえられる。』と言っています。

（「庭の意味論」p 2、鹿島出版 1996） 庭の生態系、すなわち人々が庭仕事に込める丹精が空間的、象徴的ネットワークとなっ

て恵み野を覆っているということだと思います。本当に美しい庭であり、街でした。漁川（いざりがわ）と茂漁川（もいざりがわ）もまた、ただただ美しい川でした。多自然型工法を施された川には季節外れの鮭が一匹泳いでいました。この川の風景の美しさはどこからきているのでしょうか。漁川と茂漁川に丹精を込めた人々によって醸し出されていると言え言いすぎでしょうか。私はそうは思いません。地域の風土の核である川を、さまざまな制度や技術を屈指して自然の形に近づけたのは、この川を愛する人々なのです。恵庭市には人々が慈しむ庭と川があり、それらは相互に無数のつながりを日々生み出し、つまり街への愛のネットワークが作動しているのです。私がこの「地域連携コミュニティ再生講座」に参加して4年目になります。あらためて地域連携の意味を考えさせられ、そして地域「連景」という造語を思いつきました。この言葉を今でも考え続けています。人々が大切に作る風景は、どのようにお互いがつながり、風景の生態系を作り出すのだろうか、と。皆さんと一緒に考えていきたいです。」

「映像から見える地域の魅力」

講師：佐々木邦俊氏（Mo☆vie Broadcast Office Kuni 代表）

講師の佐々木邦俊さん（ほうしゅんさん）には、デジタル映像コンテンツ制作講座の講師を担当していただいています。今回の講演の中では、動画を使った「庭めぐり」＝各団体施設紹介のデモンストラーションビデオを紹介してくれた。

映像をつくる技術は身近なものとなり、もはや個人が BBC や CNN、NHK などの大組織の放送局と同じことが出来るようになり、“劇団ひとり”ならぬ、“放送局ひとり”状態であるとのこと。

ほうしゅんさんが動画を作る際、意識しているキーワードが二つあり、一つが『「観光」と「観音」』であるとのこと。光を観る、音を観るのが映像、映像とは光の残像の世界、まさしく色即是空な世界とのこと。もうひとつが『人を中心とすること』とのことでした。絵コンテなどが無くても流れの中でのライブ感を大切にしていると話していただきました。



第1部 現場〈庭〉から「伝える技術・受けとる心」を考えるー

6 団体パネルディスカッション



パネルディスカッションではまず次のことをパネリストに尋ねてみました。「今皆さんの活動地域で伝えたいことは？」。これは伝える技術に関する質問です。自分の活動場所を伝えたいという意見が出ました。そして「これまでの地域連携コミュニティ再生講座で共感したことは？」ということも尋ねました。これは受け取る心に関する問です。みなさん、皆に会いたくなる気持ちが沸いてくると答えてくれました。これらを庭の話でたとえるなら「自分の庭を見てもらいたい」という気持ちと「みんなの庭を見たい」ということかと思えます。オープンガーデンの思想がそのまま現れるようなディスカッションになりました。

合宿ミーティング

全体フォーラム後は夕食をとりつつ合宿ミーティングを行いました。ここでは今年度の残りや次年度何をしましょうかというのが議題でした。次年度は北広島で開催すること、合宿費集めもかねて札幌駅で野菜販売をすること、実施が遅れ気味であった『デジタル映像コンテンツ制作会議』を行うこと、「経営相談会議」を行うことが決められました。



2012. なにしましょう?

どこで?? (課題のある) NEEDS (5226)

松岡さんち

東工大

北広島

札幌

あけぼの、コナリ

江別

石狩

事務局 (遠藤、竹田、橋本)

登山

まちとみに行く

何をやる??

野菜を売る

インターネット

NPOの会計の話

各地のプロダクト紹介

いつやる??

10/24, 26, 28日

11/7 ~ 11/10

全体フォーラムの日たち (新2012年)

中村有理沙 (東工大)

下平 裕衣 ()

いちかわあやこ ()

橋本 同・郎 ()

吉田 祐記 (あー)

最谷 清 ()

Mopie (あー)

村井 敬雄 ()

橋本 正寿 (江別)

松本 健也 ()

松岡 幸子 (北広島)

石井 まさ子 (北広島)

村井 敬雄 ()

橋本 正寿 (江別)

松本 健也 ()

第2部 現場〈庭〉を伝えることー

デジタル映像コンテンツ制作講座（第1～6回）



自分の庭を他の人に見てもらう。そして自分の視点で他の人の庭を見つめる。そしてその様子を動画に撮影し配信すれば、そぞろ歩きが世界に広がるのではないかと。昨年度、千歳での合宿ミーティングで提案された「インターネットテレビ」とはそういう提案でした。

しかし実際に動画をつくるのが出来る人がほとんどおらず、まずは動画制作の技術を学ぼうとして始めたのがこの講座です。講師には佐々木邦俊氏を招きました。どこか難しい感じがする動画製作であるが、簡単にできることを体験するのが第一の目的でありました。参加者は各団体からの希望者で、前半3回を講習、後半3回は実習となりました。

デジタル映像コンテンツ制作講座発表会ー市民活動にもっともっと動画を！

6回が終了した年度末には作品発表会を行いました。全5作品が発表され、講評者は織田泰之氏（水泳 NPO 代表理事・Mac ヲタク）、福田幸一氏（札幌日大高校放送部顧問）、そして東京からインターネット中継で参加した土肥真人氏の3者です。技術的なアドバイスや、忌憚のない感想・意見が出されました。



後半は講評者3名の他、作品製作者も加わり、IT や動画の市民活動への活用についてパネルディスカッションを行いました。最後に札幌日大高放送部の生徒による作品が上映されました。生徒の作品は見る者を引き込ませる高いレベルのものでありました。動画を作る技術自体は手軽になった一方、伝える技術には多くの細やかかつ深いものがあることを教えていただきました。この発表会では東京の土肥研究室と Skype を利用して生中継で結び、発表会の様子は USTREAM で配信させ、かつ作品は You-Tube で視聴できるようにし、さらに視聴者からのコメントを Twitter や Facebook を通してリアルタイムで会場で見ることができるようになりました。無料で利用できる通信技術をフルに活用した実験的な催しでもありました。

<http://www.chitose-town.net/act/itv.html>



9

さいごに

2008年に初めて「地域連携コミュニティ再生講座」に呼んでいただいたから、4年間、6つの市民グループの方々と一緒に「地域の連携」について考えてきました。この報告書も4冊目になります。これまでの報告書のタイトルは2008年度が「コミュニティを育む場を考える」、2009年「みんなで連携を考える」、2010年「みんなでつながりを作る」でした。大きな地図を使って「つながり」を見てみたり、石狩川の広大な流域を確認したり、「つながり」は行動であるという名言を共有したり、車を連ねて6つのグループの活動拠点ツアーを催したり、わずか3年の間に、以前には想像もできなかった世界が広がってきたのを感じています。そして2010年には6つの市民グループが、「アクティブ・アクティブ」という市民連携グループを結成するという大きな成果も生まれました。

2011年からは、6グループの活躍する舞台であるまちをお互い見せてもらおう！という企画が始まりました。今年は、えにわ市民プラザ・アイルにホストになっていただき、恵庭市恵み野のオープンガーデンと多自然工法によって整備された漁川、茂漁川を見学しました。その美しさは、今でも深く心に残っています。市民がまちを愛すると、こんなに素敵な場所が現れるのだと、改めて思い知らされました。そんな素晴らしい場所を、この4年間ですっかり親しくなった「アクティブ・アクティブ」の皆さんと一緒に歩いていると、人のつながり、庭のつながり、川のつながり、そしてまちのつながりの、大きな力の中にいる自分を見出して嬉しくなります。

動画作成と配信を通して、お互いのまちや活動を知り合おうという企画も、進んでいます。「デジタル映像コンテンツ制作講座作品発表会」には、東京からINで参加しました。それぞれのまちの素晴らしさをどの様に伝え合い、共有できるのか、未だ挑戦中の企画ですが、離れたまちとまちがつながるための重要な道具になる！と、期待しています。

この何年間か、講座が終わって東京に帰る前に、千歳川下りをカヌー、Eボート、ゴムボートで愉しんでいます。支笏湖から流れだす清流、ゆったりと畑の中を流れる中流、大河石狩川に合流する水道、アクティブ・アクティブの活動する大地を貫き結んでいる千歳川のいろいろな顔をちょっとだけですが、見せてもらっています。自然の多様性、ひとびとの活動の多様性、そのつながりの多様性、どんどん引き込まれてゆきます。

恵庭で素敵な場所を作られ案内してくれた、内倉さん、荒関さん、動画作成講座の講師を務めていただいているほうしゅんさん、ありがとうございました。今回は、東京工業大学の研究室の若い学生諸君も5名ほどこの講座に参加しました。彼らも本当に楽しそうで、まちについて多くの大切なことを学んだと思います。この報告書の作成に当たっては彼らに強力にサポートしてもらいました。

最後になりますが、今年も貴重な機会を与えていただいた、財団法人 北海道地域活動振興協会に感謝いたします。

土肥真人

「デジタル映像コンテンツ制作講座作品発表会」で講評していただいた織田泰之さん（Mac オタク）、福田幸一さん（札幌日大高）「経営相談会議」でグラフィックファシリテーションをしていただいた宮本奏さん、溝渕清彦さん（NPO ファシリテーションきたのわ）にも改めて感謝の意を表したいと思います。

遠藤 淳

参加団体連絡先

〇市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブとは

地域連携コミュニティ再生講座に参加する石狩管内にある市民活動団体 6 団体から公正されるゆるやかな運営組織です。参加各団体は各地元の市民活動団体の中間支援組織的な活動を行っています。アクティブ・アクティブはその中間支援組織の協働組合のような性格を持ち、各団体の活動を相互に補完・支援も行います。参加 6 団体は以下の通りです。

アクティブ・アクティブ結成の経緯は過去の地域連携コミュニティ再生講座・全体フォーラム報告書〈みんなで「連携」を考える 2010〉・〈みんなで「つながり」をつくる 2010〉を参照のこと

アクティブ・アクティブ連絡先

- * アクティブ・アクティブメーリングリスト ML : chiiki_renkei@freeml.com
- * アクティブ・アクティブホームページ : <http://www.chitose-town.net/act/index.html>

アクティブ・アクティブ参加 6 団体連絡先

NPO 法人ひとまちつなぎ石狩

〒061-3282 石狩市花畔2条1丁目9-1

E-mail : Center@hitomati-ishikari.net

理事長 羽田 美智代

TEL/FAX: 0133-60-2722

URL : <http://blog.canpan.info/hitomachi3213/>

NPO 法人コンカリーニョ

〒063-0841 札幌市西区八軒1条西1丁目 サ・タワ・プレイス

E-mail : info@concarino.or.jp

理事長 齋藤 千鶴

TEL: 011-615-4859 FAX: 011-615-4866

URL : <http://www.concarino.or.jp>

NPO 法人えべつ協働ねっとわーく

〒069-0813 江別市野幌町30番地1

E-mail : center-i@kind.ocn.ne.jp

理事長 白鳥 健志

TEL: 011-374-1460 FAX: 011-374-1461

URL : <http://center-i.jp/>

NPO 法人北広島ITネットワーク

〒061-1123 北広島市朝日町5丁目1-1中央公民館内「ITステーション」

E-mail : kitahiro_it_net@yahoo.co.jp

理事長 酒井 正汎

TEL/FAX: 011-376-7955

URL : http://www.geocities.jp/kitahiro_net/

NPO 法人えにわ市民プラザ・アイル

〒061-1413 恵庭市本町110番地

E-mail: eniwa_plaza@bz03.plala.or.jp

理事長 泉谷 清

TEL: 0123-39-3355 FAX: 0123-39-3356

URL : <http://eniwa-aill.com/>

一般社団法人ちとせタウンネット

〒066-0062 千歳市千代田町5丁目7-1千歳市民活動交流センター「ミナクル」

TEL: 0123-24-0847 FAX: 0123-24-0900

代表理事 村中 敬維

URL: <http://chitose-town.net/>

地域連携コミュニティ再生講座全体フォーラム アクティブ・アクティブ 活動報告書 2012 年 3 月作成

< 制作 >

遠藤 淳 一級建築士事務所 黎明座・NPO 法人コンカリーニョ

土肥 真人 東京工業大学 社会工学専攻

東京工業大学 土肥研究室有志 (吉田祐記 下平瑠衣 橋本尚一郎)

-連絡先- 札幌市中央区北1条西15丁目大通ハイム811

一級建築士事務所 黎明座 (遠藤) TEL 011-598-0001 leimeiza@wa2.so-net.ne.jp